

新理事紹介

The Message from
Executive Director

森田ビジョンの実現を
支えるキーパーソン達が
熱き思いを語る。

教育・研究担当理事



阿部 宏史
あべ・ひろふみ
専門は都市・地域計画学。京大大学院工学研究科修士課程修了。岡山大学環境理工学部教授、同大学院環境学研究科長などを歴任。徳島市出身。

大学にとってもっとも重要なことは研究成果を教育に還元すること。先端的な研究をする教員が学生に教え、学生はその分野で最新を知る。そういう仕組みづくりをしたい。総合大学としての特色を生かしながら幅広い視点で教育・研究のあり方を考え、学部や研究科の枠を超えた異分野融合型の研究を進めていきたい。

病院担当理事



槇野 博史
まきの・ひろふみ
専門は腎・免疫・内分泌代謝内科学。岡山大学医学部卒。同学部教授、同大学院医歯薬学総合研究科長などを歴任。岡山市出身。

地域のために先進医療を提供し、病診連携、病病連携の中で「最後の砦」としての役割を果たしたい。病院で臨床教育研究を行いながらの人材育成も必要だ。私は「アートフル ハートフル」な大学病院を目指している。この言葉には知識、技術、そして心が備わった医療を提供したいという願いを込めている。

企画・総務担当理事



許 南浩
ほう・なんほ
専門は細胞生物学。東京大大学院医学系研究科修了。富山医科薬科大医学部教授、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授、同大医学部長などを歴任。倉敷市出身。

総務・企画担当には、組織の維持、基本的な変革を担う企画、協働の基盤づくりのための連絡調整と三つの柱がある。教育の本質、特徴をきちんと見極め、現実的で理念に沿った検証・評価制度のあり方も考えたい。大学のあるべき姿を追い求めていくことが大学の存在理由だと思う。

社会貢献・国際担当理事



荒木 勝
あらか・まさる
専門は西洋政治史。名古屋大学大学院法学研究科博士課程（後期）単位修得退学。岡山大学法学部教授、同大学院社会文化科学研究科長などを歴任。愛知県出身。

地域貢献と国際化は大学の戦略と位置づけられている。地域と大学がともに大学づくり、まちづくりに取り組みリージョナルセンターをつくりたいと、検討を進めているところだ。大学の国際化のためには研究者や学生が海外で研究や勉強ができる環境づくりも必要。岡山大を世界的な知性の府にしたい。

財務・施設担当理事



北尾 善信
きたお・よしのぶ
岡山大学法学部卒。文部科学省研究振興局振興企画課学術調査官、同省科学技術・学術政策局基盤政策課人材政策企画官などを歴任。京都府出身。

大学が独自色、特徴を出しながら、競争的資金や他の経費を獲得する努力が必要な時代。学生の講義室、課外活動用のほか、今まで以上に他大学の研究者や留学生らが訪れる共同利用の研究センターの施設整備も進め、よりよい教育・研究を行うための環境整備を支援したい。

Dean 研究科長・学部長等紹介



**教育学研究科長
教育学部長**
加賀 勝 (かが・まさる)
▷運動学



社会文化科学研究科長
高橋 文博 (たかはし・ふみひろ)
▷倫理学



自然科学研究科長
則次 俊郎 (のりつぐ・としろう)
▷ロボット工学



保健学研究科長
岡本 基 (おかもと・もと)
▷脳科学



環境学研究科長
吉川 賢 (よしかわ・けん)
▷樹木生理生態学



医歯薬学総合研究科長
谷本 光音 (たにもと・みつね)
▷血液・腫瘍・呼吸器内科学



法務研究科長
上田 信太郎 (うえだ・しんたろう)
▷刑事訴訟法



文学部長
永田 諒一 (ながた・りょういち)
▷西洋史学



法学部長
佐野 寛 (さの・ひろし)
▷国際私法



経済学部長
清水 耕一 (しみず・こういち)
▷経済理論、自動車産業論、労働経済、フランス経済



理学部長
高橋 純夫 (たかはし・すみお)
▷生物学



医学部長
吉野 正 (よしの・ただし)
▷病理学



歯学部長
松尾 龍二 (まつお・りゅうじ)
▷口腔生理学



薬学部長
森山 芳則 (もりやま・よしのり)
▷生化学



工学部長
谷口 秀夫 (たにくち・ひでお)
▷情報工学



環境理工学部長
永井 明博 (ながい・あきひろ)
▷流域水文学



農学部長
奥田 潔 (おくだ・きよし)
▷動物生殖生理学



資源植物科学研究所長
村田 稔 (むらた・みのる)
▷植物分子遺伝学



地球物質科学研究センター長
神崎 正美 (かんざき・まさみ)
▷鉱物学、地球物質科学